

2020 年度「集配外務能率調査」について

1 調査目的

事業を取り巻く環境が大きく変化してきている中、郵便局の作業実態と現行の要員算出標準との乖離を確認するため、昨年 11 月に全国 10 支社 21 局において実態調査を実施。

そこで、土曜休配等郵便制度改正に伴い、郵便外務要員の適正な配置を行うため、昨年の実態調査結果に加えて、今回新たに能率調査を実施し、より精緻なレベルでデータを取得・分析したうえで、郵便局の作業実態に即した作業能率等の見直しを行う。

2 調査対象業務及び作業

次の作業における局内及び局外作業を調査対象とする。

項番	調査対象担務	調査勤務の指定	乗務車両の指定
1	通集配	日勤	二輪
2	混合	日勤／夜勤	四輪

3 調査局数及び調査区数等

(1) 調査対象局の選定

ア 本社で 2019 年度外務物調データを基に、1 箇所あたりメートル（走行距離・受箱箇所数）、人口に占める配達箇所数（総配達箇所数・人口）により各郵便局を 4 つのカテゴリー（主要都市、ビジネス・住宅混在地域、住宅地、農山村地域）に分類。

イ 本社で 1 月～3 月 19 日のうち、配達滞留発生回数が 5 回未満の局から選考。

ウ 4 つのカテゴリーの中から信越は「住宅地・農山村地域」が指定される。

なお、農山村地域は住宅地で選考した局の旧集配センターの中から選考。

(2) 実施局（案）

ア 長岡西局。

イ 長岡西局七日町旧集配センター。

(3) 【参考】全国の調査局数

全国 13 支社 26 局（うち、集配センター 4 箇所）。

郵便局の特性（地況等）に応じて調査局数を決定。

特性	主要都市 （ビジネス地域）	ビジネス・ 住宅混在地域	住宅地 （戸建て・集合 混在地域）	農山村地域 （住宅点在地域・ 集配センター含む）
局数	4 局	8 局	8 局	6 局

4 調査内容

(1) 郵便局内作業

「郵便局内作業開始（着手）から郵便局出発前まで」及び「帰局後から作業終了時まで」を調査。

ア 種類別取扱物数及び配達箇所数等。

イ 作業時間

郵便局内作業におけるすべての作業について、作業内容及びその処理に要した時間。

※1 DOSS の入力作業時間、朝礼、郵便体操や班ミーティング時間などもそれぞれ調査。

※2 点呼・日常点検等の時間は二輪・四輪別にそれぞれ調査。

※3 大区分及び道順組立作業は、定形/定形外郵便物別にそれぞれ調査。

(2) 郵便局外作業

「郵便局出発から帰局時まで」を調査。

ア 走行距離、走行時間及び一時停止時間。

イ 郵便物の種類別、配達方法別（集合受箱配達、セキュリティマンション等）の配達箇所数及び配達交付時間。

(3) 留意事項

各作業の手順や車両の日常点検等は、各種マニュアルや法令等に沿って実施。

5 調査方法等

(1) 通集配

局内作業は調査対象外務社員に装着したビデオカメラによる映像、局外作業は車両（二輪）に装着したビデオカメラによる映像により、調査を実施。

(2) 混合

局内・局外作業中、支社調査員は調査対象社員に常時随行（軽四車両にも同乗）し、その傍で調査様式への記入により調査を実施。

更に、調査精度を上げるため、支社調査員にビデオカメラを装着し、撮影した映像により調査内容を補完。

(3) その他

テレマティクスデータを取得するため、専用端末（スマートフォン）を調査対象社員に携行させる。

6 調査スケジュール

(1) 調査実施期間

7月27日（月）～7月31日（金）

(2) 調査日程

項目	月	火	水	木	金
七日町 旧集配センター	調査 説明会	通配(3)	—		
長岡西局	—		調査 説明会	通配(2)	通配(2)
				混合(2)	混合(2)

※（ ）内は調査区数。

7 調査員等

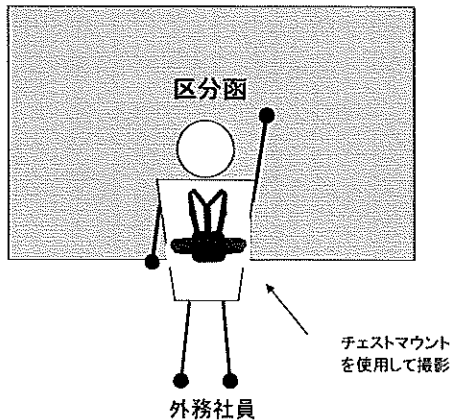
調査員は支社社員が実施。

8 集配外務能率調査イメージ

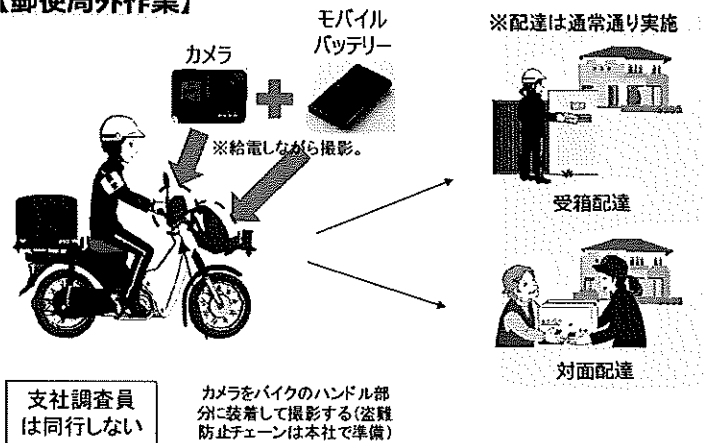
(1) 二輪乗務社員の調査

局内作業は調査対象外務社員に装着したビデオカメラによる映像、局外作業は車両（二輪）に装着したビデオカメラによる映像により、調査を行う。

【郵便局内作業】



【郵便局外作業】

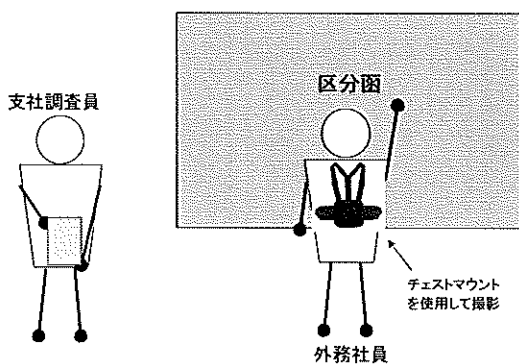


(2) 四輪乗務社員の調査

局内・局外作業中、支社調査員は調査対象社員に常時随行（軽四車両にも同乗）し、その傍で調査様式への記入により調査を実施。

更に、調査精度を上げるため、支社調査員にビデオカメラを装着し、撮影した映像により調査内容を補完。

【郵便局内作業】



【郵便局外作業】

